

ころ柿づくりを通して斎川を学ぶ

斎川ころ柿づくり体験教室を開催

11月23日、斎川ころ柿づくり体験教室が、斎川小学校で開催されました。この催しは、斎川ころ柿作り体験教室実行委員会が主催したもので、昨年に続き2回目の開催。市内の小学校から児童や保護者など計39組、81人が参加しました。この日は、4月に統合する斎川小と統合先の白石第二小学校の児童も大勢参加し、斎川地区の特産品でもある「ころ柿」を、柿の収穫から皮をむいて干すまでの工程を実際に体験。参加者は、ころ柿づくりを通して斎川の地域について学ぶとともに、親子同士や地域の人たちとの触れ合いを楽しみました。



▲先生役の地域の人から柿のむき方を教わる児童たち

一足早いお正月気分！

白石市第二幼稚園でもちつき会

12月15日、白石市第二幼稚園の園庭でもちつき会を行いました。この行事は、臼と杵を用いた昔ながらのもちつきを園児に体験してもらおうと毎年開催し、今年で29回目。近隣に住む南町長寿会の方々を招き、園児と保護者約90人が協力してべったんべったん、力いっぱいもちつきを楽しんでいました。

できあがったおもちは、お雑煮・あんこ餅・きなこ餅にして、長寿会の方々といっしょに園内で食事。園児は「もちつきが楽しかった」「もちもちしておいしかった」と楽しそうに話していました。



1_ おじいちゃん・おばあちゃんと楽しい食卓！
2_ 「よいしょー！」の掛け声に合わせて、元気に杵を振りました

親子でつくろう、身近な食材

白川小学校で豆腐づくり親子活動

11月28日、白川小学校3年生の児童と保護者が豆腐づくりを体験しました。みやぎ仙南農協の協力を得て行われているこの取り組みは、児童の食育の一環として豆腐を親子で手づくりするもの。児童が校庭の畑で栽培・収穫したあおばた豆などを材料に、ミキサーで砕いたり、搾った豆乳ににがりを加えたりと、農協職員の指導を受けながら豆腐づくりを学びました。

児童は「混ぜるのは大変だったけど、豆腐づくりを体験できてうれしかったし、楽しかったです」と話してくれました。



▲豆乳を混ぜながら、ゆっくりになりにがりを加えています

高齢者の安心のために！

仙南電気事業協同組合が奉仕作業

11月21日、市内の一人暮らし高齢者宅で仙南電気事業協同組合による奉仕作業が行われました。この奉仕作業は、社会貢献活動の一環として、平成26年から実施し、今年で4回目。民生委員から紹介のあった8世帯を対象に、安全に電気設備を利用できるように漏電検査やコンセントの点検、電気設備の清掃、電気器具の交換を行いました。作業をしてもらった高齢者は「普段、目の行き届かなかった所を点検してもらい安心しました。一人暮らしで、手が届かない場所の清掃や電球の交換などをしてもらいうれしいです」と笑顔で話してくれました。



▲ブレーカーの点検をする同組合員たち

地域の緑化活動に尽力されました

菅野浩一さんが緑の少年団育成成功労賞

11月30日、深谷小学校みどりの少年団育成会長の菅野浩一さんが（公社）国土緑化推進機構から「平成29年度緑の少年団育成成功労賞」を受賞されたことを受けて、山田市長を表敬訪問しました。

菅野さんはこれまで同育成会長として、長年に亘り深谷地区の子どもたちに緑化活動を指導されるなど、地域の緑化推進に多大な貢献をされました。深谷小学校みどりの少年団は、平成25年に行われた第36回全国植樹祭「全国緑の少年団活動発表大会」で最高賞「みどりの奨励賞」を受賞するなど、その取り組みが高く評価されています。



▲感謝状を手に山田市長と記念撮影する菅野さん（左）

新しい教育の創造を目指して

探究の対話（p4c）フォーラムが開催

12月1・2日、ホワイトキューブで「探究の対話（p4c）フォーラム in 白石」が、宮城教育大学と（公財）上廣倫理財団の主催で開催されました。p4cとは、対話を通してお互いの考えを深めていく活動のことで、本市では3年前から学校の授業で取り入れられています。

1日は、白石第一・第二小学校から5年生、白石中学校・東中学校から1・2年生の1クラスがそれぞれp4cを用いた授業を公開。2日は、白二小と仙台市の小中学校3校による実践発表と文科省研究官による「対話が拓く新たな学びの可能性」と題した講演が行われました。



▲「働く」をテーマに労働について自分の考えを話す東中生

白石の柿を全国へ発送！

「樽柿・ころ柿」発送式

12月8日、宮城県ころ柿出荷協同組合で「樽柿・ころ柿」の発送式が行われました。樽柿は、宮城県産の蜂谷柿を使用し、木樽に詰め焼酎に浸し渋抜きをした県南の名産品。主に年末の贈答品として全国から人気があり、この日は郵便局の「ふるさと小包」で250箱が発送されました。保科惣一郎代表理事は「8月の長雨や11月の霜で生育や収穫量に影響が出ていますが、品質はとても良いです。自信をもってお届けします」と話していました。1月から発送が始まるころ柿も出来栄がよいとのこと。年末年始、白石の味が全国で楽しまれています。



▲樽柿が全国の柿ファンに届けられました

良好な地域社会づくりに貢献

齋藤健さんが総務大臣表彰

12月4日、「地縁による団体功労者総務大臣表彰」を受けた齋藤健さんが市役所を訪れ、山田市長に受賞の喜びを話しました。齋藤さんは、以前は500世帯を超える大規模自治会だった上郡山地区の再編に尽力し、平成12年には新たに誕生した上郡山第二自治会長に就任。地区住民による各種行事を開催するなど地域内コミュニティの維持に力を入れ、子育て世代や高齢者世帯を含めた地域の安定した生活環境のため尽力されました。

平成17年からは白石市自治会連合会役員に就任し、単位自治会のまとめ役として大きく貢献しました。



▲表彰状を手に山田市長と記念撮影する齋藤さん（左）